

こんな漢字指導は××だ！

とある母親の訴えです。(うちのクラスではないですよ、念のため)

こういう新出漢字は、その単元が終わってから
一気に指導するものですか？
それとも、1時間ごとに指導するものですか？
うちの6年生は、漢字を練習する時に
10個書くように言われたら、まず、辺の部分を
10個書き、それからつくりを10個書いているあほやろうです。
宿題は、こなしているが、漢字はおぼえていないように思うのですが。

私は、このように子どもを追い込むのは犯罪行為だと思っています。
努力して報われるのなら、根性主義的方法でもまだいいと思います。
でも、努力した結果、力がつかない。これでは最低です。
私はこのメールを見て、未だにこういう指導をする人がいるのだなあ、とあきれました。
まず、新出漢字の指導は5つのパーツからなっています。
その5つを明確に指摘した上で、具体的な教授行為を組み立てます。
それもすべて国語の時間中の指導です。
やたらと漢字を宿題にしたり、自習でさせたりするのはどうかと思います。
例えばこんな具合にです。

「スキルの 番開きなさい。」

1 読み方を確認する

「後について言いなさい。音読み『空(くう)』(子ども復唱)訓読み『空』、青い空、夜空、空席、8画
うかんむり(子どもそれぞれ復唱)」

2 書き順を確認する

「書き順、確認」(スキルの書き順の横に指で書くように指示してある)

3 空書き

「空書き用意！」(ここで子供達は、ひとさし指を空に高く上げて、肘を動かして大きく書く)

「さんはい!」「いち、に、さーん、し、ごーお、ろく、しち、はち」

「さーん」「ごーお」になるのは「折れ」「ハネ」があるからだ。

声がバラバラだったり、間違っている子が一人でもいたらやり直しをさせる。

やり直しの方法は、5つ以上ある。

4 なぞり書き

「鉛筆を正しく握って、なぞります。少しでもはみ出たら後でやり直しです。もしはみ出たら、×をして空いているところにやり直しなさい。書き順もいいながら書きます。」

5 写し書き

「上のお手本とそっくりそのままに書きます。枠からはみ出したり、小さすぎたらやり直してもらいます。書き順はもちろんいいながらですよ。」

これを一日4個ずつ行います。